

わたしたちは、都子さんのメモリアルコンサートをおこなってきました。
オウムに殺された都子さんが、魚津の僧ヶ岳の山中から、遺体で発見されたからです。
都子さんは19才のときに「赤い毛糸に・・・」という詩を書きました。
それに川崎祥悦先生が曲をつけてくださり「あなたの心に」という合唱曲ができました。
この合唱曲を歌うことによって「都子さんの思い」を伝えています。
都子さんはどんなことを考えた人だったのでしょうか。どんな生き方をした人なのでしょう。

今回参加する小学生の皆さんは、どんな気持ちで、どんな態度で歌ったらいいのでしょうか。



上の写真は「坂本都子」さんです。「都子」と書いて「さとこ」と読みます。

下の写真は、弁護士の 坂本堤さんと、妻都子さん、子どもの龍彦ちゃんです。
21年前に、オウム真理教の幹部に殺されました。都子さんは魚津市の僧ヶ岳に
堤さんは 新潟県の名立市に 龍彦ちゃんは長野県の大町市に埋められました。



6年後に遺体が発見されました。
都子さんの遺体が山からおろされる時、
山のふもとの人たちは 手に手に線香
やろうそくを持って 沿道に立ちなら
び 両手を合わせて都子さんの遺体
を見送りました。

僧ヶ岳の林道の脇に、慰霊柱と慰霊碑があります。

都子さんのご両親は、ここが他人の土地であることも知らず、慰霊柱をたてました。ご両親の 大山友之さん やいさん夫妻は、地主の 山本清作さんを訪ねて 謝りました。山本さんは 大山さんを、温かく迎え入れました。

やがて 弁護士も 無償で土地を提供してもらい 慰霊碑を建てました。上の3つの輪は3人をあらわしています。大きいのが堤さんと都子さん、小さいのが龍彦ちゃんです。

これは ひとつの石をほって 作られています。



大山さん夫妻



山本さん夫妻

山本清作さんは、お盆の時期などにあわせ、ふだん訪れることのできない大山夫妻や 弁護士も 無償で土地を提供してもらい 慰霊碑を建てました。ご両親の 大山さん やいさん夫妻は、地主の 山本清作さんを訪ねて 謝りました。山本さんは 大山さんを、温かく迎え入れました。



「あなたの心に」

作詞 坂本（旧姓大山）都子
作曲 川崎祥悦

赤い毛糸に
だいだいの毛糸を結びたい
だいだいの毛糸に
レモン色の毛糸を結びたい
レモン色の毛糸に
空色の毛糸も結びたい
青い空と
深い緑の森を結びたい
結びたいんだ
このまちに生きる
ひとりひとりを
結びたいんだ
私の思いを
あなたの心に

1999年8月18日 僧ヶ岳にかかった虹（慰霊碑まえで撮影）

第1回のメモリアルコンサートの前日、慰霊碑の前で 追悼の演奏が行われました。ふもとの村を出る時はすごい土砂降りでした。そして大きな雷鳴がとどろきました。都子さんのお母さんがおもわず「都子が呼んでいる!!」と叫びました。しかし林道に入る頃には晴れてきました。堤さんの友人の松本克巳さんがヴァイオリンを弾きはじめました。それは堤さんが使っていたヴァイオリンでした。大平記子さんが都子さんのフルートを吹きはじめました。ちょうどその時です。空に大きな大きな二重の虹が現れました。光の粒々が演奏に合わせて舞いながら 音楽を楽しんでいるかのようでした。慰霊碑には、都子さんの「赤い毛糸に・・・」の詩が刻まれていました。都子さんの詩と大きな二重の虹・・・この一致に みんな不思議なものを感じました。



1999年8月18日 僧ヶ岳林道の慰霊碑

ヴァイオリンは松本克巳（まつもとかつみ）さん
フルートは大平記子（おおだいらのりこ）さん
楽譜を持っているのは山本清作さんのお孫さん

「赤い毛糸に・・・の詩に 曲がついたら歌えるのに・・・」と実行委員の一人がつぶやきました。その言葉が作曲家の川崎祥悦先生の心に届きました。

川崎先生は「はじめ詩を読んだ時、赤やだいだいやいろんな色の毛糸がでてきて何だこれは?と思いました。しかし『結びたいんだあなたの心に』というフレーズがガツーン と心に響きました。この曲は 頼まれたから 作った曲ではありません。作らなければならない、作るのは私の天命だ、と思いました。都子さんが たびたび、かたわらに現れました。これでいいだろうか・・・ と何度も都子さんに語りかけながら作曲しました。」と語っておられます。

コンサートの前日、慰霊碑に楽譜を捧げました。

「都子さん あなたの詩に作曲させていただいた合唱曲です・・・」
心の中で語りかけながら、深々と頭を下げられました。



松本克巳さんの演奏するなかで都子さんの慰霊碑に楽譜を捧げる川崎祥悦先生 2004. 10. 30



2004. 10. 31 慰霊碑前
献花する川崎祥悦さん 演奏する松本克巳さん

第4回コンサート当日の朝
コンサートに先立ち
都子さんの慰霊碑の前で
「あなたの心に」を歌いました。
「都子さん こんな歌だよ
今日のコンサートではじめて
披露するよ。」
心で語りかけながら 合唱しました。

下の写真左から
大山友之さん
浜田敏明さん
(詩に曲をつけてほしいと言った人)
松本克巳さん
逸見登久恵(へんみとくえ)さん
(都子さんの友人で都子さんの
生き方を伝える活動をしてる。)
小熊房江さん
川崎祥悦先生
今野強(いまのつよし)さん



第4回 愛とヒューマンのコンサート

合唱曲「あなたの心に」が初演されました。川崎先生の代表曲「山のいぶき」も合唱しました。
合唱曲「あなたの心に」ができたことで、都子さんの思いや生き方を音楽で伝えることができるようになりました。



2004. 10. 31

天神山交流館合唱室
指揮：川崎祥悦さん
ピアノ：宮本則子さん



2004. 10. 31
松本克巳さん
森崎由紀子さん

第10回目より子どもたちも参加して都子さんの思いを伝えています。

「あなたの心に」を歌って お互いに心を通わせて生きる大切さを伝えます。

「親と子の童謡メドレー」で親子の愛情のあたたかさを歌います。



10回目コンサート

リハーサル
川崎先生といっしょに →



第11回コンサート

慰霊碑が僧ヶ岳のふもとの 「片貝山ノ守キャンプ場」に移設されました。

林道がたびたび土砂崩れで通行できなくなることが多く、また、長年お世話くださった山本さんご夫妻がご高齢で負担が多くなったからです。これからは、多くの人々で見守られることでしょう。



6月2日 除幕式



山本さんご夫妻
長年ご苦労さまでした。

「あなたの心に」
を歌いました。

